

太宰府市俳句ポスト第百二十四回 入選者

(令和六年八月七日〜令和六年十一月十二日)

選者 阿比留 初見

入選句

薄ら日の包む句碑の辺草の花

春日市 永利 五十鈴

山上の記憶をたどり郁子さぐる

北九州市 元田 品子

秋の日や弾き手が続く駅ピアノ

福岡市 満重 勇二

賽銭に思ひを込めて願ふ秋

滋賀県 小屋端 快成

仲秋の月に照らされ大社

大分県 間瀬 圭一朗

面接官みな優しくてさわやかや

福岡市 井手 亮太

秋晴に並ぶ幸せ影二つ

京都府 辻村 恭吾

日を揺らし樹々を揺らして天高し

那珂川市 池田 ひさ絵

くずアイス手に太宰府をめぐりけり

大分県 小倉 芙弥

赤い羽根衿にささやかなる良き日

大野城市 岡井 由里

紅葉且散る神苑のひとりの歩

筑紫野市 笹倉 裕子

馬責めの坂の走り根秋惜む

福岡市 荒浪 ひろ

千灯明ゆらめく水面水澄める

福岡市 白井 道義

末枯の井筒井筒を抜けて鯉

福岡市 阿部 弘子

草履跳ねドイツ娘の七五三

大野城市 田代 りえ子

なつやすみまいとしくるよゆうえんち

鳥取県 森田 結月 四歳

どんぐりを手に本でんへ神だのみ

山口県 岡田 心音 十歳

あついのによくがんばったねおさるさん

宮崎県 まわたり どうしろう 十二歳

雨は消え涼風感じ天満宮

東京都 林 真綾 十五歳

秋風や太宰府めぐりつきづきし

筑紫野市 小嶋 ひより 十五歳

